

第3回日本オペレーションズ・リサーチ学会 文献賞選考経過ならびに論文要旨について

第3回日本オペレーションズ・リサーチ学会文献賞は、表彰委員会の推薦により東北大学助教授高橋幸雄氏の論文“A Sequencing Model with an Application to Speed Class Sequencing in Air Traffic Control” (JO-RSJ, Vol. 17, No. 1, pp. 1-28 所載) に授与することを理事会において決定いたしました。以下簡単に選考経過を説明いたします。

1月22日、表彰委員長より各委員に対して第3回日本オペレーションズ・リサーチ学会文献賞審査対象論文の推薦方を依頼し、委員より4編の推薦がありました。これらの論文について、2月5日、3月11日および文書による選考を行なって上記の論文を適当と認め、理事会に答申し、4月9日の理事会において決定を見ました。本論文は、空港に航空機が着陸する場合、速度による制限があり、これを考慮して速度の同じものはまとめて着陸させるように管制を行なうと空港の効率をあげることができます。この問題を多種類の客のある場合のサービス・システムのモデルによって定式化し、再生理論やマルコフ・チェーンを利用して解析を行なったものであります。本論文は理論的にすぐれているのみならず、実施面も取り扱っている点がとり上げられて授賞対象となりました。

論文要旨

いろいろな速度の飛行機が次々と飛行場に着陸する場合、速度の遅い飛行機のとから速い飛行機が着陸するときには、安全上の規則から着陸に要する正味時間のほかに余分な時間がかかる。そのため速度が同じ飛行機をまとめて着陸させるように航空交通を管制すると飛行場の効率をあげることができる。この問題を、多種類の客があるサービス・システムのモデルによって定式化し、再生理論やマルコフ連鎖を利用して、先着順サービスにくらべて sequencing を行なうとどの程度効率があげられるかを解析した。

日本オペレーションズ・リサーチ学会文献賞選考委員会

高橋さんのプロフィール

高橋 幸雄 (たかはし ゆきお)

略 歴

生年月日 1944年(昭和19年)10月22日
 現住所 〒985 多賀城市丸山1-2-3-35
 1967年3月 東京工業大学理工学部応用物理学科卒業
 1969年3月 東京工業大学大学院理工学研究科修士課程修了, 応用物理学専攻, 理学修士
 1972年3月 東京工業大学大学院理工学研究科博士課程修了, 応用物理学専攻, 理学博士
 1972年4月 東京工業大学助手(理学部情報科学科)
 1974年11月 東北大学助教授(経済学部経営学科)。現在にいたる。



高橋君がOR学会文献賞を受賞されたことに対し、ORを志している若い仲間の1人として、また学友としてもほんとうにうれしく思います。心からお祝いをいたします。

高橋君のこれまでの仕事の内容は確率モデルにおける理論とその応用に関するものであります。とくにマルコフ連鎖や待ち行列などに関してはすばらしい業績があり、学位は“Some Problems for Applications of Markov Chain”で取得され、今回受賞の論文もその一部をなしているものであります。彼は、ORの中で確率モデルが線形計画法やシミュレーションなどのもっとも広く使われるようにしたいといつも語っています。彼の優秀ぶりは学生時代から有名ですが、人間的にも誠実な人柄に加え積極さと面倒見のよさで先輩、後輩をとわず誰からも慕われており、現在もそれは変わりません。こういった面は、OR活動においても、若い研究者の集まりであるSSORの中心的存在になっていることをみてもわかります。さらに、彼の学問以外の才能として有名なのはバリトン(?)の喉です。そのうまさ、声量の大きさ、迫力には誰もが圧倒されます。最近、東北大へ栄転され、杜の都仙台で今後のいっそうの活躍と発展を期待しております。

(森 清 堯)